

「いずみ会」はいずみ会規約に沿って、令和6年度事業計画に従い次の事業を実施した。

第1. 定時評議員会

いずみ会の最高議決機関である定時評議員会を令和6年5月25日（土）に大泉勤労福祉会館集会室（多目的室）で開催した。出席者57名、委任状提出者125名（オンライン配信希望者1名を含む）の合計が182名となり、いずみ会規約13条に基づく定足数124（議員総数371名）を満たして本評議員会は成立した。上程された第一号議案；令和5年度事業報告及び収支決算の承認の件、第二号議案；令和6年度事業計画案及び予算案承認の件、第三号議案；「いずみ会規約」及び「いずみ会規則」改正の件、第四号議案；いずみ会役員選任の件についていずれの議案も承認された。

第2. 理事会、監査会等の活動

令和7年度4月までの活動は、理事会を10回・書面審議1回及び監査会を2回開催した。昨年度に引き続き対面形式の理事会と並行してウェブ会議形式での配信を同時に行い、会場に出席できない役員の参加を促した。

第3. 活性化に向けての取り組み

1. 令和7年1月13日（月）に「75期の20歳を祝う集い」を企画、75期代表者との打合せ、一部の方に往復はがきによる開催案内を行い、参加者111名（会員数：176名）母校食堂で開催する事ができた。
2. 令和6年10月開催の総会において、総会後の懇親会に同期の集いを促し、32期の同期会を同時に開催できた。
3. 令和7年2月に69期同期会（高校入学10周年）、令和7年3月に73期同期会（社会へ羽ばたきの年）の開催が企画され、その援助を実施した。

第4. 会報の発行、広報活動の充実

1. 会報「いずみ第68号」を令和6年10月1日に発行、従来のゆうパック便から一般普通郵便に変更して新しい会費納入基準に基づき発送した。その結果、会員個々の会費支払い情報の印字、返信はがきの裏面印字ができるようになった。

主な掲載記事は次の通り。

- ・令和6年度定時評議員会報告
- ・令和5年度母校での職業講話実施報告
- ・各期同期会のお知らせ・同期会開催報告・20歳祝う集い（74期）開催報告

2. ホームページ (<http://www.izumikai.com/>)

今年度も多くの会員から投稿を寄せていただき、充実した情報発信を行えた。

- ・掲載記事 評議員会・総会開催報告、20歳を祝う集い・同期会報告、在校生の活躍、
- ・投稿記事 展覧会・個展紹介、OB演奏会紹介、会員活動紹介

特に、新規連載として「ヒロフクダ、マジックボランティア巡礼」が始まりました。

第5. 総会及びホームカミングデー

令和6年10月26日（土）に総会は母校食堂で、会員51名、特別会員1名、役員18名の参加での開催となり、その後、場所をイタリアンレストランVANSANに移動して懇親会を開く

事ができた。

第6．財政管理

1. 収入については会報同封のゆうちょ銀行支払票へのラベルコメント復活により、会費・寄付金
が好調、雑収入は解散する同期会・クラス会からの入金があり、予算比大幅増。一方、総会参
加費は軽減会費の若年層の参加者が多く、予算から下振れたものの、全体では令和6年度予算
比138%、前年度実績比133%となった。
2. 入会金については例年以上に母校との粘り強く連携を維持しながら、会長はじめ担当理事の多
大な努力の結果、昨年同様新入会員111名より555,000円の入会金が入金された。
3. 支出については各科目ともほぼ計画通り予算を執行、令和6年度予算比86%、前年度実績比
は128%で着地した。これは郵便料金の値上げが大きな支出増の要因となった。
4. その結果、令和6年度決算は384千円のプラス収支残を計上、二期連続の黒字決算となった。
5. 好調な収入に伴い、いずみ会財産の流動性資産である現預貯金残高は前年度から約605千円
の増加となった。長期的な漸減傾向は一時的にストップしたが、引続き、同残高の継続的な積
み上げを図りたい。

第7．会員情報の整備

1. 令和6年9月よりメール、返信はがきで受理した計報連絡を月でまとめてホームページに掲載
するようにした。
2. 高校77期生の新会員情報データは登録したが、本年度より名簿の配付は中止し、代わりに「い
ずみ会しおり」を配付した。

第8．母校・PTAとの連携

1. 令和6年11月13日（水）に事前入会説明会を高校3年生に対して行った。
令和7年3月14日（金）「いずみ会入会式」にて卒業生全員に記念品を贈呈し、皆勤賞は5名
の生徒が受賞した。
2. PTAとの連携は「75期・20歳を祝う集い」開催において「PTAおやじの会」の協力を得
た。

第9．人材バンク活動

令和7年1月実施の職業講話は、従来からの中学Ⅲ年生対象に加えて、新たに中学Ⅱ年生に対し
ても開催した。前年までは6教室6名の講師による分散講演形式であったが、今回から視聴覚室
で学年全員を対象とする合同講演形式となり、各学年に対してそれぞれ2名の講師派遣を行った。
また、講師派遣は行わなかったが、高校1年生を対象とした大学模擬授業は現役大学教員による
体験型授業が開催された。

第10．いずみ会創立80周年行事（令和7年11月1日開催予定）における企画内容を検討する。

理事会の中で実行委員会を立ち上げ、実行部隊として3の会、4の会とともに当日の記念行事を
企画推進する事を決定した。

以上